

令和5年度鹿児島市コミュニティバス利用者アンケート調査における 乗客への聞き取り調査結果（概要）

(1) 聞き取り調査について

＜期 間＞ 令和5年10月2日（月）～11月30日（木）のうち各地域2日間

＜対象地域＞ あいばすを運行している全11地域

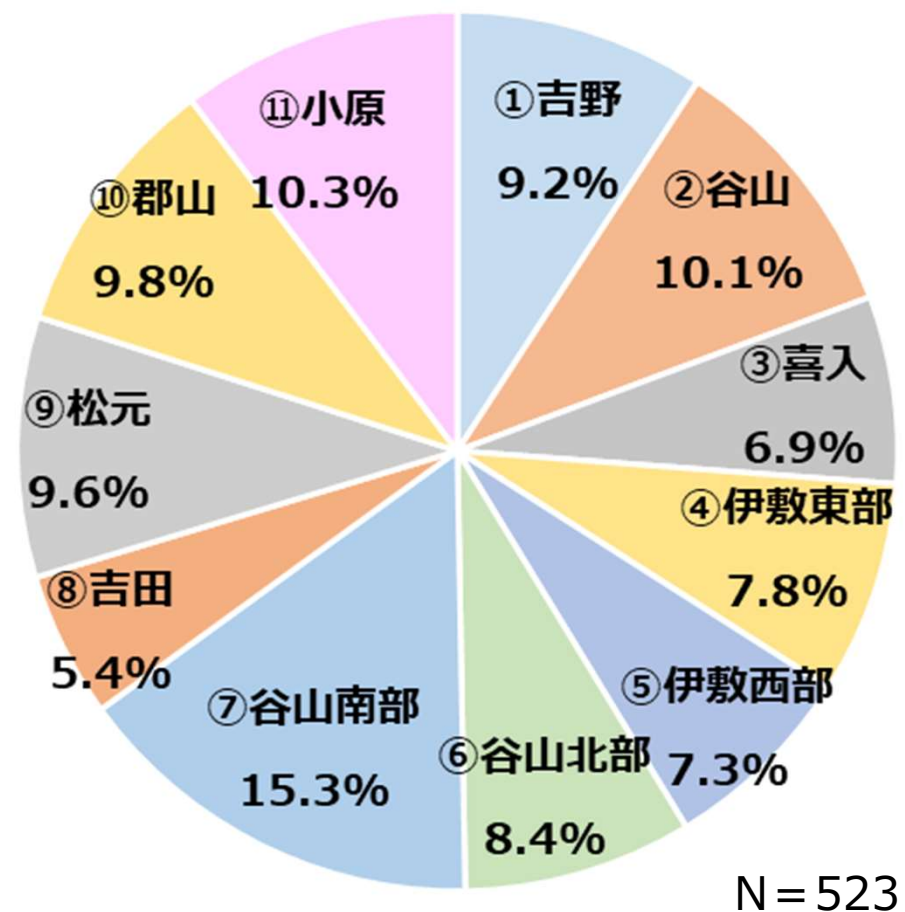
＜調査方法＞ 調査対象日の始発便から最終便まで調査員が乗車し、停留所毎の乗降客数（男女別・年齢階層別）及び乗車人員を記録するとともに、乗客に対して聞き取り調査を行う

(2) 調査結果（概要）

＜対象者数＞ 全地域合計 延べ523名

① 地域

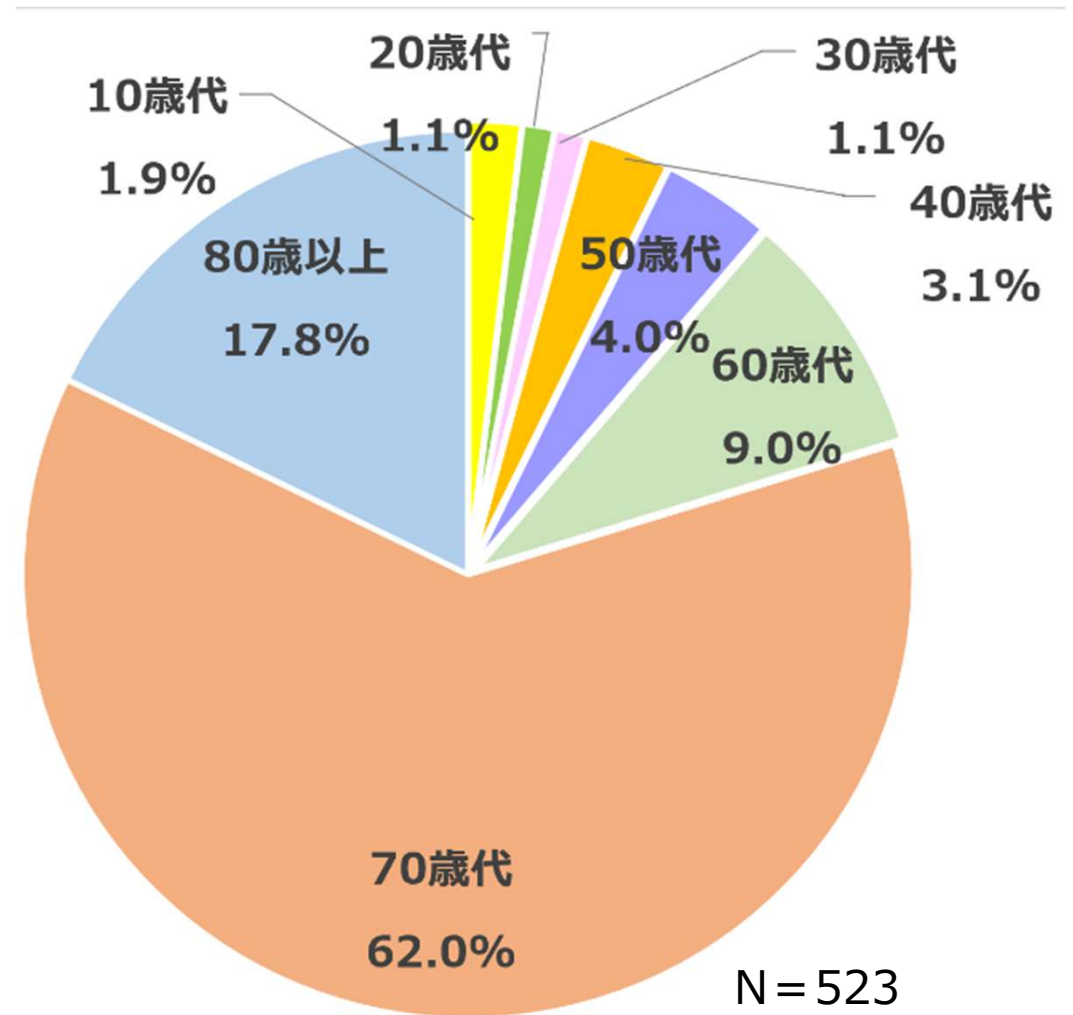
項目	人数	構成比
①吉野	48	9.2%
②谷山	53	10.1%
③喜入	36	6.9%
④伊敷東部	41	7.8%
⑤伊敷西部	38	7.3%
⑥谷山北部	44	8.4%
⑦谷山南部	80	15.3%
⑧吉田	28	5.4%
⑨松元	50	9.6%
⑩郡山	51	9.8%
⑪小原	54	10.3%
回答件数	523	100.0%



谷山南部の回答が最も多く、次いで小原、谷山が多くなっている。

② 年代

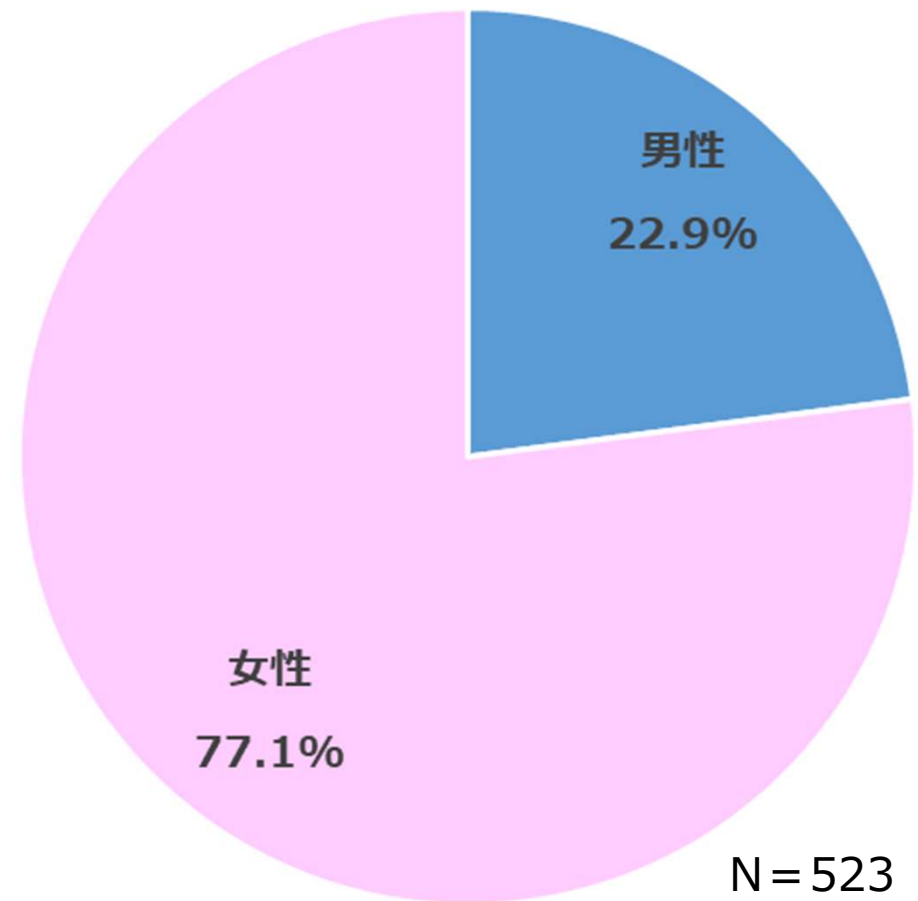
項目	人数	構成比
10歳代	10	1.9%
20歳代	6	1.1%
30歳代	6	1.1%
40歳代	16	3.1%
50歳代	21	4.0%
60歳代	47	9.0%
70歳代	324	62.0%
80歳以上	93	17.8%
回答件数	523	100.0%



70歳代が約6割、60歳代以上が約9割となっている。

③ 性別

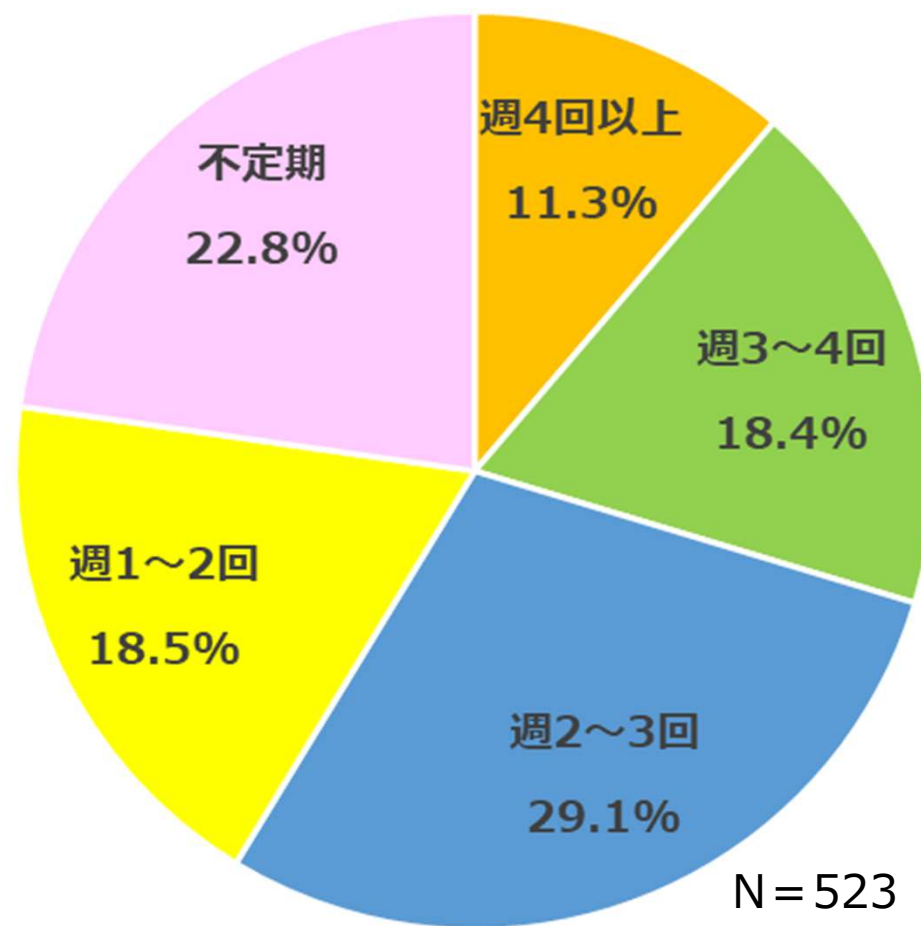
項目	人数	構成比
男性	120	22.9%
女性	403	77.1%
無回答	0	0.0%
回答件数	523	100.0%



女性が約8割、男性が約2割となっている。

④ 利用頻度

項目	人数	構成比
週4回以上	59	11.3%
週3~4回	96	18.4%
週2~3回	152	29.1%
週1~2回	97	18.5%
不定期	119	22.8%
無回答	0	0.0%
回答件数	523	100.0%



週2~3回以上の利用者が約6割、週1回以上が約8割となっており、日常生活で利用されている。

⑤ 利用目的

項目	人数	比率
通勤	33	5.7%
通学	7	1.2%
通院	89	15.4%
買い物	214	37.1%
金融機関	15	2.6%
公共施設	76	13.2%
温泉	53	9.2%
その他	90	15.6%
無回答	0	0.0%
回答件数	577	100.0%
回答人数	523	

※複数回答可

通勤(n=33)

通学(n=7)

通院(n=89)

買い物(n=214)

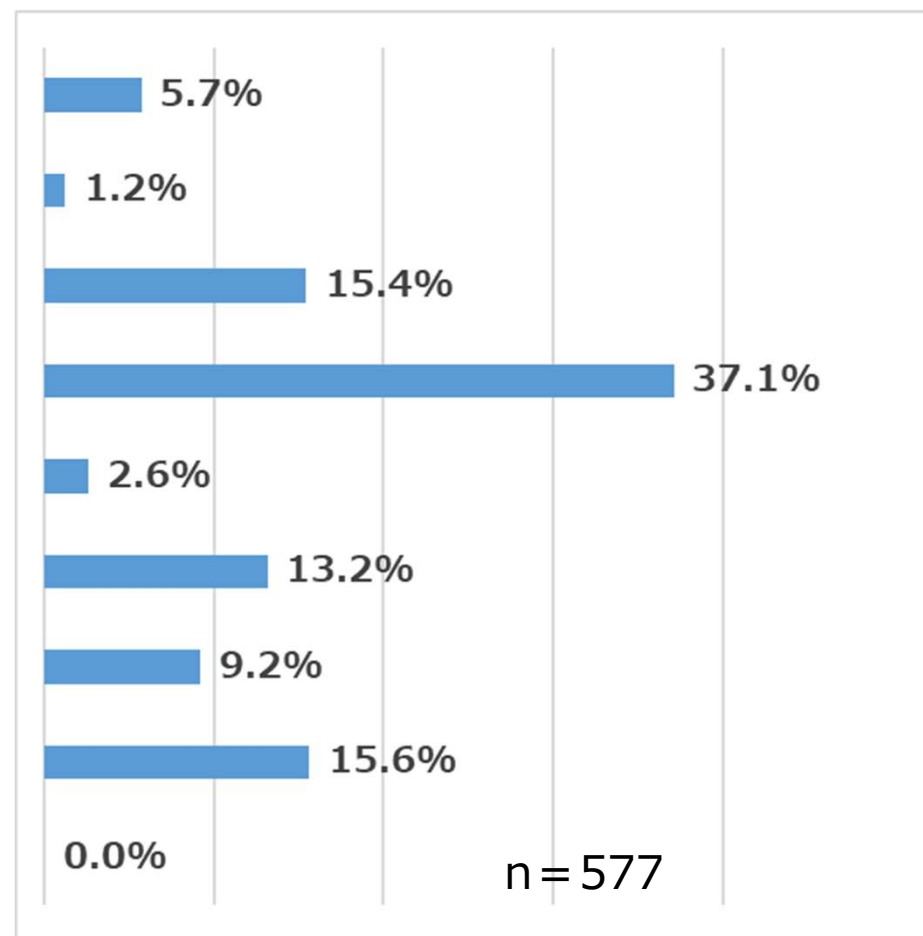
金融機関(n=15)

公共施設(n=76)

温泉(n=53)

その他(n=90)

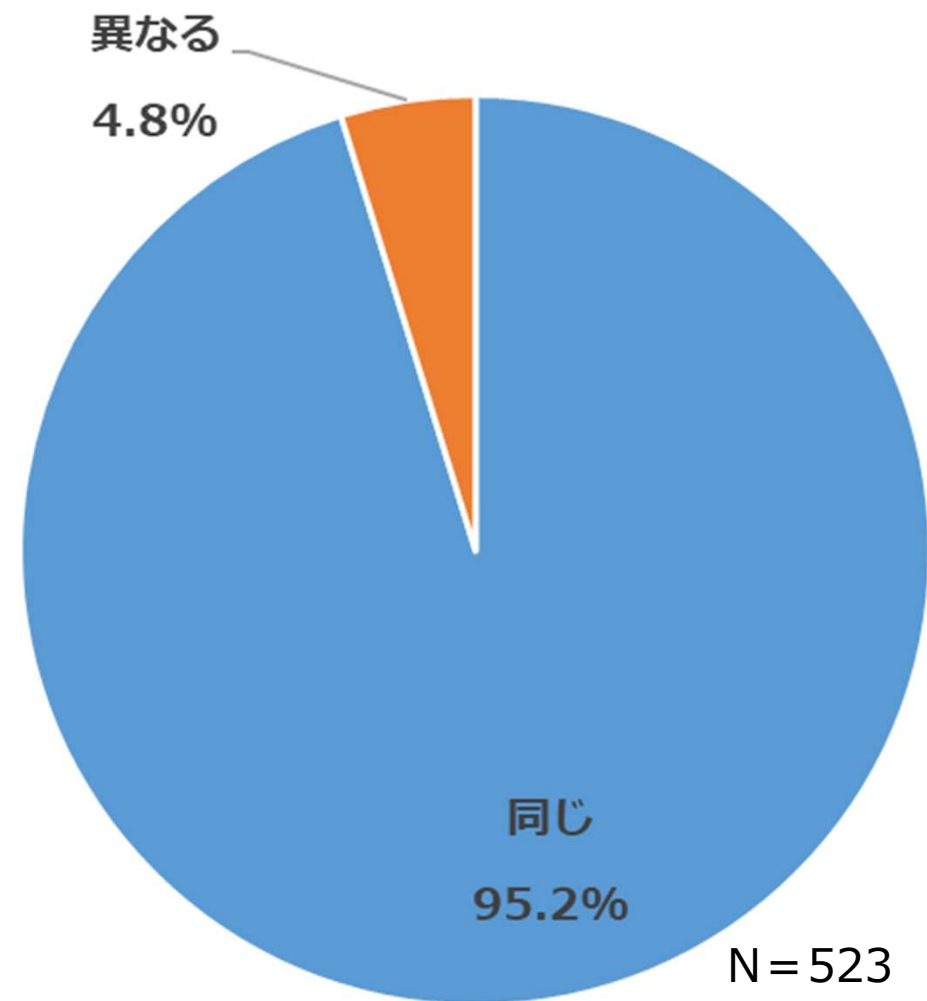
無回答(n=0)



買い物のための利用が約4割と最も多く、次いで通院、公共施設が多くなっている。

⑥ 自宅の最寄あいばすバス停と
調査時の乗車バス停

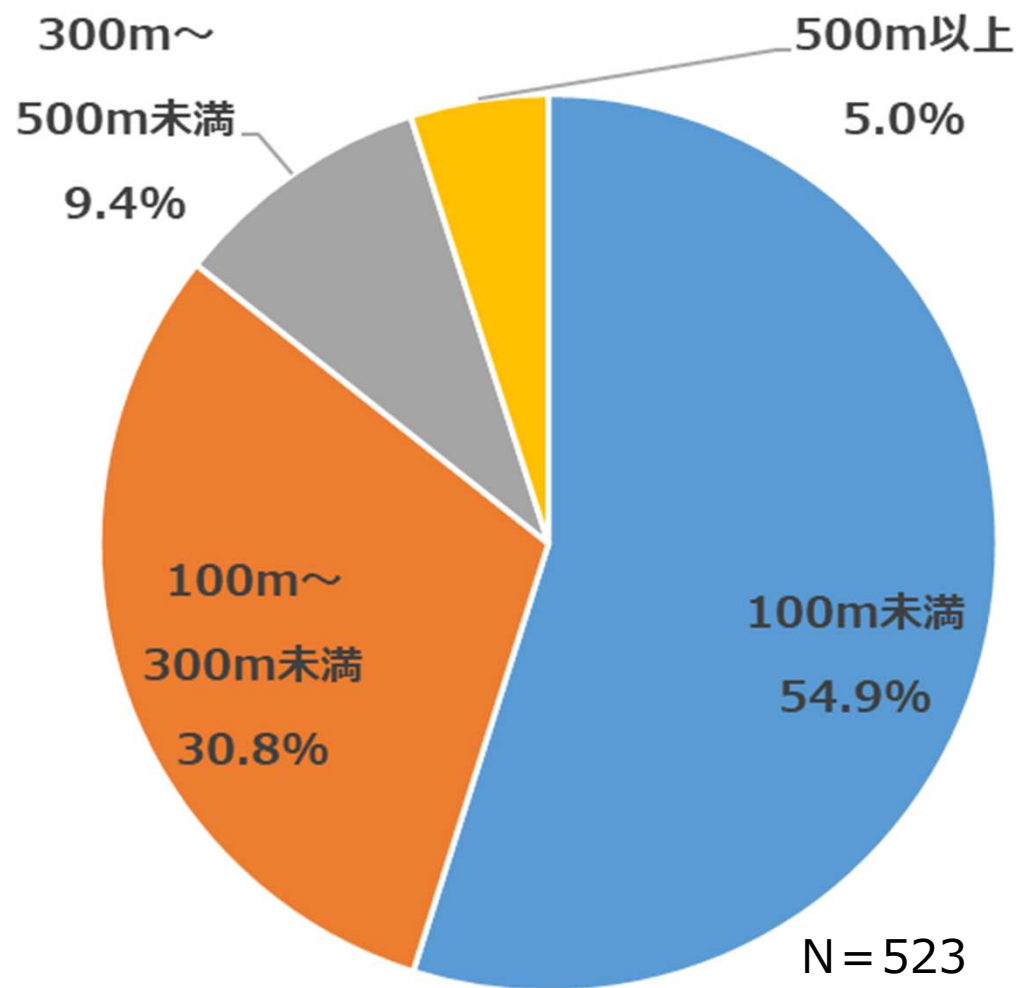
項目	人数	構成比
同じ	498	95.2%
異なる	25	4.8%
無回答	0	0.0%
回答件数	523	100.0%



調査時の乗車バス停は、自宅の最寄あいばすバス停と同じ方が9割超を占めている。

⑦ 自宅の最寄あいばすバス停までの距離

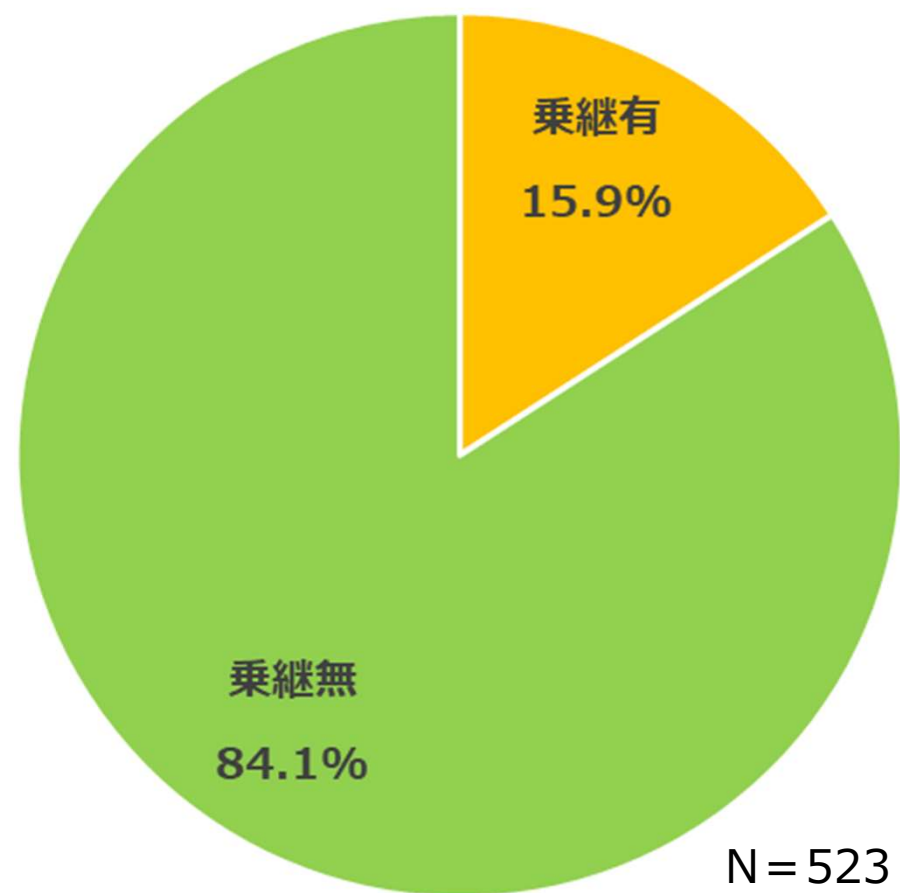
項目	人数	構成比
100m未満	287	54.9%
100m～300m未満	161	30.8%
300m～500m未満	49	9.4%
500m以上	26	5.0%
不明（無回答）	0	0.0%
回答件数	523	100.0%



100m未満が約5割、100m～300m未満が約3割となっており、バス停近隣の方が大勢を占めている。

⑧ 他の公共交通機関との
乗継利用の有無

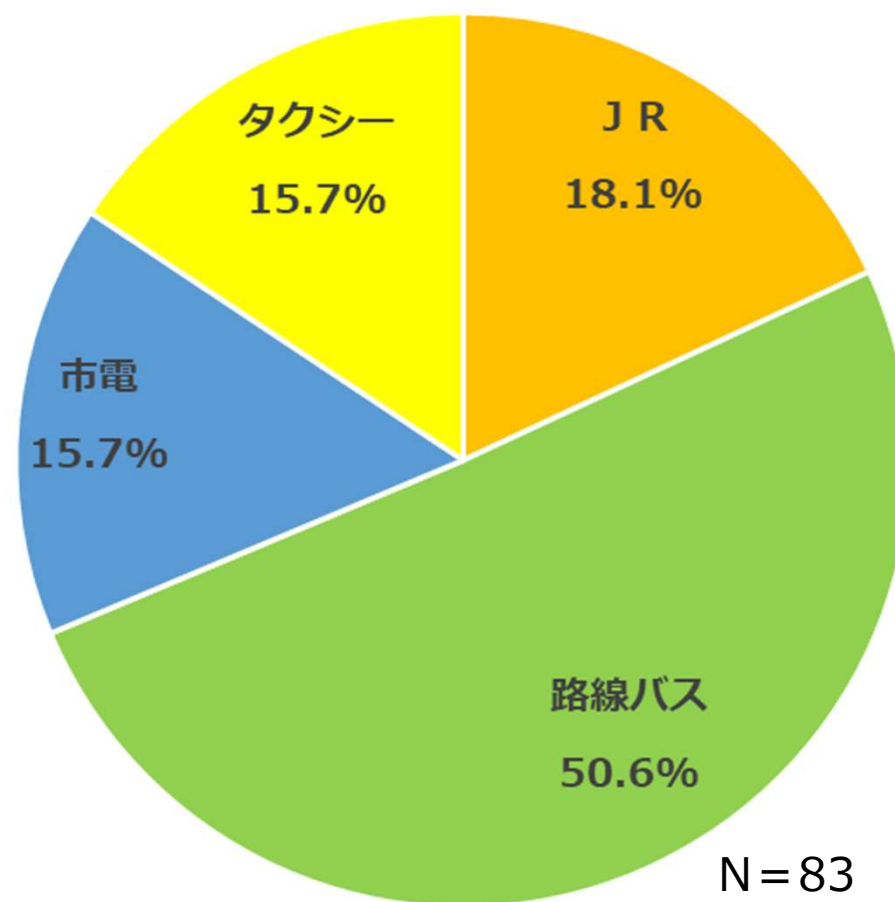
項目	人数	構成比
乗継有	83	15.9%
乗継無	440	84.1%
無回答	0	0.0%
回答件数	523	100.0%



乗継無が約8割、乗継有が約2割となっている。

⑨ 乗継有の場合

項目	人数	構成比
J R	15	18.1%
路線バス	42	50.6%
市電	13	15.7%
タクシー	13	15.7%
無回答	0	0.0%
回答件数	83	100.0%



路線バスが約5割と最も多く、次いでJR・市電・タクシーが利用されている。